

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	沖縄リハビリテーション福祉学院
設置者名	理事長 石井 和博

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	71 単位	9 単位	
	作業療法学科	夜・通信	61 単位	9 単位	
	言語聴覚学科	夜・通信	65 単位	9 単位	
	介護福祉学科	夜・通信	1220 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	沖縄リハビリテーション福祉学院
設置者名	理事長 石井 和博

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	・学校評価委員会
役割	・当学院の教育活動の質の向上、運営改善、強化を図る ・自己評価を実施、公表することで開かれた信頼される学校作りを進める。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
連携する企業	令和7年6月1日～ 令和9年5月31日	医療機関
卒業生	令和7年6月1日～ 令和9年5月31日	医療機関
保護者	令和7年6月1日～ 令和9年5月31日	学生後援会
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	沖縄リハビリテーション福祉学院
設置者名	理事長 石井 和博

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書(シラバス)の作成に当たり、教育課程を教育課程編成規程に沿って審議し決定、授業計画書(シラバス)を作成。 ・ 授業科目について、シラバスを作成し、時間数、単位数、到達目標、授業の方法、成績の評価方法の記載 	
授業計画書の公表方法	ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細は学院細則に記載 <p>【概要】 出席すべき日数3分2以上、試験は筆記、レポート、口述及び実技によって評価。 成績評価は4段階に分けて評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価A / 80～100点 / 合格 評価B / 70～79点 / 合格 評価C / 60～69点 / 合格 評価D / 59以下 / 不合格 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・客観的な指標の算出方法履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出(100点満点で点数化)、成績順位を決定して算出</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【概要】 卒業に必要な所定の単位を取得していること。認定は教職員会議で行う</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	沖縄リハビリテーション福祉学院
設置者名	理事長 石井 和博

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/
財産目録	ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/
事業報告書	ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/
監事による監査報告（書）	ホームページ URL http://omoto-okiriha.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	理学療法学科	平成7年1月 文部科学省 告示	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3132時間 / 107単位	2142時間/単位	150時間/単位	840時間/単位	0時間/単位	0時間/単位
			3132時間/単位				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数	
180人		165人	0人	9人	102人	111人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	作業療法学科	平成7年1月 文部科学省 告示	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3220時間 / 109単位	2060時間/単位	120時間/単位	1040時間/単位	0時間/単位	0時間/単位
			3220時間/単位				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数	
90人		67人	0人	7人	63人	70人	

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門	言語聴覚学科	平成7年1月 文部科学省 告示	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3098時間 / 106単位	2462時間/ 単位	76時間/ 単位	560時間/ 単位	0時間/ 単位	0時間/ 単位
			3098時間/単位				
生徒総定員 数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数		
96人	84人	0人	6人	62人	68人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門	介護福祉学科	平成7年1月 文部科学省告 示	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1992時間	1416時間/ 単位	120時間/ 単位	456時間/ 単位	0時間/ 単位	0時間/ 単位
			1992時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	41人	15人	3人	39人	42人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業方法、内容は授業計画書（シラバス）に記載し、明示。 ・年間の授業計画についてもカリキュラム及び授業計画において明示。
成績評価の基準・方法
（概要） ・出席すべき日数3分の2以上、試験の評価にて決定 ・点数が80～100はA、70～79はB、60～69はC判定で合格とし、59以下はD判定で不合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校で定める規定の単位を取得した者。出席すべき日数の3分2以上を満たした者。
学修支援等
（概要） 担任による定期的な面談を実施し、個々に合わせた支援及び対応を行う。出席・成績不良者については、学科長と担任が保護者との連携による支援を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
131人 (100%)	2人 (2%)	122人 (93%)	7人 (5%)
（主な就職、業界等） 医療施設／福祉施設／保育園			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート の書き方指導、面接指導、就職説明			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護福祉士／専門士称号授与			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
370人	15人	4%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・担当制を取り、きめ細やかなメンタル面のサポート体制の構築。 ・法人グループの専門医、保健師、臨床心理士の専門家から相談が受けられる体制。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	500,000 円	900,000 円	384,000 円	
作業療法学科	500,000 円	900,000 円	344,000 円	
言語聴覚学科	500,000 円	800,000 円	368,000 円	
介護福祉学科	200,000 円	550,000 円	224,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページ URL: http://omoto-okiriha.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学校の教育活動ならびに運営について、その目指すべき成果とそれに向けた取り組みについて目標を設定し、その達成状況を検証することにより教育活動の質の向上、学校運営改善、強化をはかること。 ・学校の教育活動ならびに運営について、自己評価ならびに学校関係者評価を実施し、その結果を公表、説明することにより学生、保護者、卒業生、地域住民、その他学校教職員を除く学校関係者 (以下「学校関係者」という) から教育活動、学校運営への理解と参画を得て信頼される学校づくりを進めること。 ・実践的な職業教育を行う教育機関として、関係業界等と相互の課題やニーズ等を共有し、実質的な連携強化を図りながら、関係業界等において必要な人材養成を実現すること。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
医療機関	令和6年6月1日～ 令和8年5月31日 (1年)	卒業生
医療機関	令和6年6月1日～ 令和8年5月31日 (1年)	企業等委員
学生後援会	令和6年6月1日～ 令和8年5月31日 (1年)	P T A
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページ URL: http://omoto-okiriha.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項) 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構の第三者評価を平成 29 年度に実施し評価認定済み (5年に1回実施)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ホームページ URL: http://omoto-okiriha.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H147334800011
学校名 (〇〇大学 等)	医療法人おもと会 沖縄リハビリテーション福祉学院
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	石井 和博

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		75人 (-) 人	74人 (-) 人	79人 (-) 人
内 訳	第Ⅰ区分	44人	43人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	17人	20人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	11人	-	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	-	-	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0人 (0) 人
合計 (年間)				79人 (-) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	22人	0人	-
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	22人	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。